

会報

第60号

いまだ青春

編集発行

公益社団法人
萩広域シルバー
人材センター

～生きがいと地域のニーズを結びます～



「萩焼窯元 陶華山窯」



	監					理	常	理
	”	”	”	”	”	事	務	事
	事						理	長
職	藤	大	村	堀	長	長	田	高
員	村	田	田	永	谷	岡	中	壽
一	季	直	郁	孝	義	繁	寛	良
同	志	志	子	春	明	雄	治	敏
								雄

令和四年 元旦



新年のご挨拶



萩市長
田中 文夫

新年おめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えることと謹んでお慶び申し上げます。萩広域シルバー人材センターにおかれましては、昭和六十一年の設立以来、長年にわたり会員の皆様方の豊富な知識や経験を生かした活発な事業活動により、高齢者の生きがいづくり、地域社会づくりにより、高齢者の生きがいづくり、

また、就業を通じて、会員の健康維持や社会参加に大いに寄与いただいているシルバー人材センターの活動につきまして、理事長をはじめ事務局、会員の皆様の熱意とご尽力に心より経緯と感謝の意を表します。

昨年の三月に実施されました萩市長選挙により、市民の皆様からの信託を受け、萩市長に就任し、市長として初めての新年を迎えました。この十ヶ月の間、市民や関係団体の皆様から多くのご意見を聞かせていただきました。これまでお聞きしてきた皆様からの声を踏まえ、「明るく元気な萩市」を創り上げるため、全身全霊を捧げて市政運営のかじ取りを担ってまいります。さて、萩市内の産業を取り巻く環境は、長引く新型コロナウイルス感染症の拡大の影響から

観光客の減少や外出自粛などにより、宿泊業や飲食業をはじめ、一次産業事業者に至るまであらゆる業種に及んでおり、市内事業者を取りまく経営環境は非常に厳しい状況が続いております。

新型コロナウイルス感染症を契機として、これまで私たちが当たり前のこととして考えてきた価値観や生活観に大きな変化が生じています。こうした現状を踏まえ、市としても落ち込んだ地域経済の回復や「新たな生活様式」の定着も含め、アフターコロナに向けては、多様化する市民のニーズに柔軟に対応するとともに地域の実態に即した対策を適切な時期かつ迅速に行うことで、まちが賑い、働く場所として魅力あるまちづくり「働いて良しのまちづくり」を推進してまいります。

一日も早く安心して暮らせる日常を取り戻すことができるよう、市としても徹底した感染症拡大防止と社会経済活動の回復に取り組むこの難局を乗り切った先にある本市の発展への基盤づくりを進めてまいりますので、会員の皆様方におかれましては、「任んで良し」「働いて良し」のまちづくりの推進に、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。シルバー人材センターにおかれましては、今後ともさらに多くの高齢者の方に入会していただくとともに、長年培ってこられた技術や経験を生かす就業先や新規事業の開拓など、会員のニーズに応える職の開拓に積極的に取り組んでいただき、「明るく元気な萩市」の一翼を担っていただくことを期待しております。

最後になりましたが、貴センターの益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸、更なるご活躍をお祈り申し上げ、新春のご挨拶いたします。



理事長
中村 敏雄

皆様にはお健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は、新型コロナウイルスが引き続き猛威を振るい、社会生活に大変な混乱を生じさせた一年となりました。この新型コロナウイルスに加え、昨年は梅雨入りや平年より一カ月近く早まり、そして梅雨明け後の連日の猛暑、かと思えば八月には三週間に及ぶ異常な長雨となるなど、まさに自然界の現象に振り回された一年でありました。

さて、新年に当たり、当センターが抱える懸案事項を一つだけご紹介してみたいと思います。
当センターは昭和六十一年に設立されて以来三十数年が経過しましたが、この間、平成二十年に行われた国の法人改革に伴い、平成二十四年からは「公益社団法人」の看板を掲げ活動しているところです。
実は、この「公益社団法人」については、法人活動を行う上でいろんな意味で問題があり、当センターでは「公益社団法人」から「一般社団法人」への移行について、今検討しているところです。

萩市内には、先に述べた国の法人改革により四つの「公益社団法人」が誕生しました。
「萩市観光協会」、「萩青年会議所」、「萩法人会」、そして当センターの四つ。
しかし、「萩市観光協会」と「萩青年会議所」は、その後「一般社団法人」に移行し、今は「萩法人会」と当センターだけとなり、そのうち、いわゆる商行為を行いなから「公益社団法人」を名乗っているのは当センターのみとなっています。



阿武町長
花田 憲彦

明けましておめでとうございます。
会員の皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

加えて、会員の皆様には「自主・自立・共働・共助」の理念の下、地域社会の活性化に貢献されておられることに、敬意と感謝を申し上げますとともに、私ども行政の業務につきましても多大なご支援・ご協力をいただいております。ここに心から厚くお礼申し上げます。

さて、本町におきましては、第七次阿武町総合計画を策定し、地方創生に積極的に取り組み、人口定住対策、一次産業の振興、人のつながりづくりなどを重点施策として進めています。

こうしたこともあって、人口減少は相変わらず進んではいるものの、本町の人口は、二〇一〇年時点における国立社会保障・人口問題研究所の二〇二〇年の推定人口よりも、二〇二〇年の国勢調査による人口は一〇〇人以上も多く、「選ばれる町」への取組の成果が、これからも伺えます。

昨年十月、デマンド式交通の「ふくすけ便」が地元有志の方々により運行を開始いたしました。自宅の玄関まで来てくれる利便性が大変好評だと伺っております。この試みが刺激となり、地域の方で地域の課題を解決する新しいアイデアや具体的な取り組みが町の様々な場所に出てくるのではと、期待しているところであります。
一次産業においても、若いUIターン者が増

え、また、町内での起業や事業の承継も増えており、町のあちこちで元気をもらえる気がします。また、そんな町の様子を、イベントでのPR活動やSNSなどによる情報発信を行うことで、まちのサポーターとなる関係人口や町内の活力となる活動人口が着実に増えています。

今年三月十二日に「まちの縁側推進プロジェクト」の要である、道の駅阿武町に隣接する「ABUキャンピングフィールド」が、いよいよグランドオープンいたします。ただ宿泊をするだけではなく、町の暮らしを体験できる様々なプログラムに参加いただくことで、町外から訪れた方々が、町での暮らしの魅力を肌で感じてもらうことにより、町のファンになっていただく、さらには移住希望者が増えることを期待しております。

貴団体におかれましては、地域住民の高齢化企業の定年延長などの要因により、会員不足が懸念されている中ではありますが、本町におきましては庁舎管理業務をはじめ、コミュニティワゴン運転業務、園児送迎業務、清掃管理業務などを始めとした多くの業務についてご貢献をいただいているところであり、会員の皆様のご活躍が地域にとってなくてはならない存在となっております。

今後、先ほど申しあげた暮らしの体験プログラムなどにおいて、高齢者の培った暮らしの知恵、技術が益々重要になって参りますし、町内にも若い人だけでは解決できない困り事が増えてきています。皆様の卓越した技術と豊かな経験が地域を助け、また、地域の活性化につながることを切に願っています。
終わりに、萩広域シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝で一層のご活躍されることを心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

「公益社団法人」の問題点はいろいろありますが、誌面の関係もありますので、代表的なものを一つだけ申し上げますと、法律により、公益目的事業に係る収入が支出を上回ってはいけない、つまり、「赤字は良いが黒字を出してはいけない」ということであります。

このため、黒字を出したときは、監督機関である山口県に黒字解消計画を出すことになっていきます。このことは、言い換えれば、経営努力をして黒字を出したことが逆に仇（あだ）になることを意味します。長年赤字を続ければ法人としての成長力が奪われ、やがて体力が衰えてゆくことは自明の理であります。

こうした、およそ世間の常識とかけ離れた運営を余儀なくされているのが「公益社団法人」の実態であります。
この懸案事項が将来的に実現できるかどうかは予断を許さない状況ですが、会員の皆様にも、センターではこうした問題を内包していることについて是非ともご了解賜りたく、新年に当たりご紹介させていただきます。

最後になりますが、本年は三十六年に一度の周期でめぐってくる「五黄の寅」の年であります。
この「五黄の寅」は、中国の星占いが元となって作られた「九星気学」の中で最強の運勢と言われる「五黄土星」と十二支の中で最も運勢が強いと言われる「寅年」が重なったもので、したがって、本年は「非常に強い運勢を持つ年」と言われています。

これにあやかり、本年が会員の皆様としてご家族の皆様にとりまして最良の年となりますよう心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

普及啓発・ボランティア活動



全国のシルバー人材センターでは、シルバー事業の社会的意義、活動内容を広く地域住民等に理解いただくとともに、高齢者のセンターへの加入を働きかけ、そして就業の拡大に向けた取組をおこなうため、毎年十月を「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」と定め、普及啓発活動を行っています。

萩事務所では、十月十六日（土曜日）、アトラス萩店においてチラシ配布等を行いました。配布している最中には入会やセンターが受注している仕事の内容についてご相談もいただき、約一時間で二五〇セットを配り終えました。



4/5 グリーンパークの芝刈（阿武）



4/5, 7/9, 9/17 交通安全期間中の国道191号線沿いの安全旗の設置（阿武）



7/1 旧奈古高周辺の草刈（須佐）



8/23 萩市須佐中の生垣の剪定（須佐）



8/25 漁港管理道の草刈（須佐）

《令和3年度のボランティア活動》

萩広域シルバー人材センターでは地域社会への貢献とセンターを地域住民に広く知っていただくためにボランティア活動に取り組んでいます。

ボランティア活動にご協力いただきましたました会員の皆様、誠にありがとうございました。

センターのボランティア活動にご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和3年度の事業運営状況（9月末まで）

会員数は、令和2年度末には476人でしたが、令和3年9月末では453人となり、23人の減、前年度9月と比較しても10人の減となっています。

昨年度と同様に新型コロナウイルスの影響もあり、入会説明会への参加を敬遠される方もあることなどから入会者が少なくなっています。

また、退会者は昨年の同時期と比べ24人減り、40人となっています。退会理由は加齢によるもののほか、死亡や本人の病気・体調不良による退会も増えております。

会員数の状況 (単位:人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	3月末
令和3年度	462	452	453	454	455	453	
令和2年度	494	484	478	460	461	463	476
比較	-32	-32	-20	-6	-6	-10	

9月末までの受託事業は、件数、契約金額ともほぼ前年度並となっています。内容として、施設管理、駐車場整理、観光地受付業務、観光地ごみ収集、トイレ清掃など昨年新型コロナウイルス感染拡大のため減っていた業務が、コロナがやや収束に向かったことにより回復しましたが、剪定、草刈などの受注件数は会員の高齢化や減少により減っています。

受託事業実績 (単位:件数:件, 契約金額:円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
3年度							
件数	305	226	301	317	304	287	1,740
契約金額	14,649,412	15,805,502	18,117,414	20,254,005	17,475,632	17,023,672	103,325,837
2年度							
件数	282	255	323	290	324	273	1,747
契約金額	13,484,546	16,791,215	17,831,700	18,967,912	19,461,899	16,707,594	103,244,866
比較							
件数	23	-29	-22	27	-20	14	-7
契約金額	1,164,866	-985,713	285,713	1,286,093	-1,986,267	316,278	80,971

理事会報告

令和3年度ではこれまで三回の理事会を開催しています。報告事項と決議事項は次のとおりです。

- 第1回理事会（4月30日開催）
 - (1) 報告事項
 - 第1号報告 職務の執行状況報告
 - (2) 決議事項
 - 第1号議案 専決処分の承認の件（令和2年度収支予算書一部補正に係る専決処分）
 - 第2号議案 専決処分の承認の件（新規入会者に係る専決処分）
 - 第3号議案 新規入会者承認の件
 - 第4号議案 令和3年度会員表彰対象者承認の件
 - 第5号議案 令和2年度事業報告承認の件
 - 第6号議案 令和2年度収支決算承認の件（監査報告）
 - 第7号議案 定款の一部改正承認の件
 - 第8号議案 令和3年度定時総会招集決定の件
- 第2回理事会（5月28日開催）
 - (1) 決議事項
 - 第1号議案 新規入会者専決処分承認の件
 - 第2号議案 就業規則一部改正の件
 - (2) 報告事項
 - 第1号報告 職務の執行状況の報告
 - 第2号報告 「令和3年度 第一回・第二回広報委員会」報告
 - 第3号報告 「令和3年度 第一回安全委員会」報告
 - 第4号報告 「令和3年度 第一回福祉・家事援助委員会」報告
- 第3回理事会（10月28日開催）
 - (1) 報告事項
 - 第1号報告 職務の執行状況の報告
 - (2) 決議事項
 - 第1号議案 新規入会者専決処分承認の件



高齢者の運転傾向から学ぶ交通安全

最近の山口県内の交通事故の傾向を見ると、全体の交通事故件数は減少していますが、高齢者による事故件数、うち死亡事故件数、負傷者数の割合がいずれも増加の傾向にあります。

山口県警が高齢者の普段の運転状況を分析した結果、県内の高齢ドライバーと20歳代ドライバーに見られる傾向は次のとおりです。

人身事故件数	20歳代	575.0件	死亡事故件数	20歳代	5.94件
	高齢者	317.6件		高齢者	7.19件



高齢ドライバーによる交通事故は、死亡事故となるおそれが高いと言えます

一般的に、高齢ドライバーは認知力、判断力、操作能力が若年ドライバーと比較して低下するため、今までどおりの運転から、これらの能力をカバーする運転に変容する必要があります。

高齢ドライバーの特性として幹線道路では速度を抑えて運転する傾向にあるものの生活道路などの慣れた道では速度を出す傾向が見られます。特に、川沿いの道や中央線のない道路では、離合を避けるなどの理由から早く通過しようとする心理が見られます。また、一時停止場所では正しく止まっていると認識していても実際には徐行となっている傾向が見られます。

より無理のない運転をするために次のことに心掛けるようにしましょう！

- (1) なるべく大通りを通るようにしましょう
- (2) 夜間の運転は控えましょう
- (3) 時間に余裕を持って出かけましょう
- (4) サポカーへの乗り換えを検討しましょう



“思いやり運転で事故を未然に防ぎましょう”

還付金詐欺・架空料金請求詐欺被害が多発中

市役所職員等をかたり、「ATMで手続き料の払戻しがある」「ATMで手続きができる」などと言って、ATMへ誘導し、そこから犯人に電話させ、うその操作を教示して預貯金を犯人に送金させる還付金詐欺やパソコンのウイルス除去・修復名目や高額当選金受領手数料名目でコンビニで「電子マネーカード」を購入させる手口の架空料金請求詐欺が多発しています。

市役所等がATMで還付金を返金することは絶対にありません。「携帯電話を持ってATMへ」と言われたら詐欺だと気づくようにしましょう。また、手続きのためにキャッシュカードを預かると言ってくる場合もあります。絶対にキャッシュカードを渡したり、暗証番号を教えたりしないでください。

架空料金請求などに身に覚えのない電子メールに返信したり、不審な電話勧誘には応じないないようにしましょう。

おかしいなと思ったら、家族に相談するなどして警察に連絡しましょう！



講習会・教育訓練

教育訓練（派遣労働者会員を対象）

「労働関係法講習」、「キャリアアップについて」について学びました。萩警察署による交通安全教室もありました。10/20 長門会場 2名、10/26 萩会場 16名



講習会開催のお知らせ

健康講習会

会員の皆様の健康の保持・増進を図ることを目的として開催している「健康講習会」を今年度も開催します。

日時：令和4年1月20日（木）13：00～

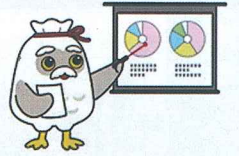
会場：サンライフ萩 教養文化教室3（萩市土原526番地）

講師：（公社）山口県シルバー人材センター連合会萩事務所 産業医 相良 絵見氏

講習内容：「糖尿病と目」

定員：20名程度（先着順） 受講料：無料

申込締切：令和4年1月13日（木）までに萩事務所（☎26-0505）へご連絡ください。



シニア生き生き教室～料理教室～

日時：令和4年2月3日（木）9：30～

会場：萩市保健センター 栄養実習室（萩市平安古町209番地1）

講師：萩市健康増進課 管理栄養士 西原 理恵氏

講習内容：「冷蔵庫の中にあるもので作ってみませんか～冬編～」

受講対象者：会員、シルバー人材センターに入会を希望する方

定員：20名（先着順） 受講料：無料

申込締切：令和4年1月27日（木）までに萩事務所（☎26-0505）へご連絡ください。

一般のお知り合いの方をお誘いの上の参加も歓迎いたします。

※講習会は、今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては中止となる場合があります。

ぜひご参加ください！



配分金所得と確定申告について

シルバー人材センターで得た「配分金収入」は所得税法上「雑所得」に区分され、六十五万円まで控除されます。一月下旬に「配分金支払証明書」を送付しますので、確定申告で必要な方は、各自で手続きをしてください。

令和四年配分金支払日

- 一月二十五日（火）
- 二月二十五日（金）
- 三月二十五日（金）
- 四月二十五日（月）
- 五月二十五日（水）
- 六月二十四日（金）
- 七月二十五日（月）
- 八月二十五日（木）
- 九月二十二日（木）
- 十月二十五日（火）
- 十一月二十五日（金）
- 十二月二十三日（金）

手芸品を販売しています

手芸同好会「きららの会」で作成している手芸品を萩事務所にて販売しています。

かばん、ポーチ、エプロン、根付など色々ありますよ！

お気軽に萩事務所にお越し下さい♪

安全委員会だより

安全巡回パトロールを九月九日(休)に実施しました。堀永孝春安全委員長、田中寛治副委員長、田中靖彦安全委員、長岡修業務課長の四名で萩地域の剪定・草刈、須佐地域の草刈、田万川地域の草刈の四カ所の就業現場を巡回し、安全就業チェックリストにより就業状況の確認を行いました。

十月十一日(月)には県連合会主催安全パトロールが実施され、県連合会安全委員四名と萩広域シルバー人材センター安全委員二名、職員三名が参加し、萩地域の剪定・草刈現場の巡回を行いました。

今年十月末現在で六件の事故が発生しています。とくに賠償事故はセンターの信用を失う原因となります。いずれも注意をすれば防げる事故ばかりです。

今後事故ゼロを目指し、お互い協力し事故を未然に防ぎましょう。

事故緊急時の連絡
シルバー人材センター
休日及び時間外

緊急連絡先

- (萩) ☎090-7974-5503
- (阿武) ☎080-5628-9530
- (むつみ) ☎080-5628-9535
- (須佐) ☎080-5611-9328
- (田万川) ☎080-5611-9334

《令和3年度の事故の状況》

損害事故

地区	発生日	就業内容	事故の状況
萩	3.6.2	草刈作業	窓ガラス破損
萩	3.8.2	草刈作業	軽トラックのリアガラス破損
萩	3.9.28	草刈作業	窓ガラス破損
田万川	3.10.25	草刈作業	テレビの同軸ケーブル切断

派遣業務事故

地区	発生日	就業内容	事故の状況
阿武	3.6.7	運転業務	ガードレールに接触
田万川	3.7.7	運転業務	イノシシ除けフェンスに接触



表紙に寄せて

今号の表紙は今年の干支にちなんで、萩焼窯元「陶華山窯」女流陶芸家松尾優子さん作の干支寅絵皿と干支寅置物です。

陶華山窯では、磁器発祥の地、佐賀県有田町での陶芸技術を伝統工芸の萩焼に融合させ、開窯時には、陶華山窯独自の「萩むらさき」の先駆者として他の追随を許さず、また近年は優子さん作による御本手草花模様、花鳥文、龍文など多彩な絵付けを取り入れ、萩焼に現代的な新風を吹き込む担い手として作品を作られています。

萩焼窯元「陶華山窯」
〒七五八-0061
萩市椿沖原四一四-1
九(☎)八三八-二五
一(二三六)

編集後記

令和三年もコロナ禍での不自由な日常生活を強いられた一年でした。季節性インフルエンザの流行期とも重なる中、引き続きウイルスへの基本的な感染対策を徹底し、安全就業に心掛けていきましょう。

今号では、高齢ドライバーによる交通安全、多発する高齢者を狙った詐欺被害を特集しています。その特性や傾向を知り、皆さんがより安心・安全に暮らせる一助としていただければ幸いです。

(記 長谷)

広報委員会構成員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 長谷 義明 |
| 副委員長 | 長山 雅範 |
| 委員 | 長岡 繁雄 |
| 委員 | 斎藤 敏男 |
| 委員 | 高壽 良行 |
| 委員 | 中村すみれ |